

あとがき

第3号には、巻頭言に加え、最終講義、特別講演、総説各1編と原著4編、プラザ1編、臨床懇話会2編と梅雨の鬱陶しさを吹き飛ばすような多彩な内容となっている。巻頭言は、旭川医科大学長吉田晃敏先生より ICT と医療の融合により遠隔地においても最先端の医療を提供できる「遠隔医療」の確立に尽力された経緯が述べられ、今後の医療と ICT との結びつきの重要性について考えさせられた。山田教授の最終講義では、先生が脳研究の世界に入られた経緯と痛みの伝導路である脊髓視床路や脊髓小脳路の伝導路の特定とこれらに付随した2つの伝導路を特定された業績、痛みと発がん遺伝子の C-Fos 蛋白の関係や人脳の左右差について証明され、粘り強い神経解剖学者としての業績との印象を受けた。長尾教授の特別講演は、先生が取り組まれ

て来られた病理診断学を基盤とした唾液腺腫瘍における成果を述べられ、病理診断・病理解剖・治療の連携による医療への貢献の重要性を説かれている。内藤先生の総説は、東京医大大学院に留学生を受け入れていくために必要なインフラ整備の必要性を現状を踏まえて述べて頂き当大学の解決すべき問題点が明らかとなった。原著5編は、各科の特徴を有する秀逸な論文である。プラザでは、黒田教授によりマイクロ RNA の重要性が述べられ今後の応用に期待を持たせる。臨床懇話会の2題は、当科も関与した貴重な症例の紹介であり、興味深い。輝く内容の本号にご寄稿を頂いた先生方に深謝申し上げたい。

(内野博之 記)

当該雑誌に掲載された論文の著作権は本医学会に帰属する。また本書の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き禁じられている。



この印刷物はグリーン基準に適合した印刷資材を使用して、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮商品です。インキは環境にやさしい植物油インキを使用しています。

平成 22 年 7 月 25 日 印刷
平成 22 年 7 月 30 日 発行
東京医科大学雑誌 第 68 巻 第 3 号
発行者 臼井正彦
発行所 東京医科大学医学会
(東京医科大学内)
〒160-8402
東京都新宿区新宿 6-1-1
TEL 03 (3351) 6141 (代)
FAX 03 (3226) 7030
e-mail address
igakukai@tokyo-med.ac.jp
印刷所 笹氣出版印刷株式会社
〒984-0011
仙台市若林区六丁の目西町 8-45
TEL 022 (288) 5555